

広報

かまいし

お知らせ版

令和元年度

防災士養成研修講座の受講者を募集します

地震・津波や豪雨災害など、災害に関する知識や取り組み方を学び、地域や職場で、災害から命を守るための活動を始めてみませんか。

市は、地域の防災力の向上を図るため、NPO法人 日本防災士機構の認定資格である防災士の養成講座を開催します。2日間の日程で「身近でできる防災対策」「避難所の開設と運営（演習）」など12講座を受講し、最後に防災士資格取得試験に挑戦します。



防災士とは 「自助」「共助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認証した人です。

平常時の役割	家庭、地域、企業の防災対策・防災啓発・訓練・研修
災害時の役割	公的支援到着までの被害軽減、消火活動や救出救助、避難誘導
災害発生後の役割	行政、ボランティアとの協働、避難所運営、被災者支援

日時	令和2年2月15日(土)9時20分～19時 16日(日)9時20分～18時10分（午後には試験あり）
場所	釜石市民ホールTETTO ホールB
定員	60人 ※申込者多数の場合、先着順とします
受講料	5,000円（防災士資格認証登録料）※後日徴収します
申し込み	12月27日(金)までに応募用紙を郵送、FAXまたはメールで市防災危機管理課へ送付してください。応募用紙は市防災危機管理課に備え付ける他、市のホームページからダウンロードできます。※受講要件など詳しくはお問い合わせください

申し込み・問い合わせ 市防災危機管理課 防災係 〒026-8686 只越町3-9-13 ☎27-8441 FAX 22-2686
 ☑bousai@city.kamaishi.iwate.jp

胆大心小

たんだいしんしょう…強い勇氣、大きな志と共に、細やかな思いやりの心で真の復興へ

鵜住居・栗橋地区を学びの場に



11月16日、ラグビーワールドカップ2019™終了後初となる、ラグビートップチャレンジャーリーグの釜石シーウェイブスRFC対コカ・コーラレッドスパークスの試合が釜石鵜住居復興スタジアムで開催され、約2000人の観衆を集めました。ラグビー体験や地元産グルメの販売、震災の伝承活動などは来場者から好評を得ており、大会終了後のスタジアム利用促進のモデルになりました。翌日には小学生のタグラグビーの交流試合が開かれ、市内の他、オーストラリアや小田原市からも参加し、国際的、全国的なイベントとして開催できる可能性を感じています。

スタジアムは現在市が管理し、来年度からは一般の方にも貸し出す予定です。既に各方面から打診を受けており、今後の展開が非常に楽しみです。

また、市民体育館のこけら落としイベントとして、バスケットボールの岩手ビッグブルズの試合が12月14日に開催されます。鵜住居・栗橋地区のスポーツや観光の施設、世界遺産、震災の伝承施設は、子どもたちにとって最高の学習の場になります。ぜひ皆さんも足を運んでください。

釜石市長 野田武則